

総代会の仕組み（総代会制度について）

信用金庫は、会員同士の「相互信頼」と「互恵」の精神を基本理念に、会員1人ひとりの意見を大切にすることを基本とした協同組織金融機関です。したがって、会員は出資口数に関係なく、1人1票の議決権を持ち、総会を通じて当金庫の経営に参加することとなります。しかし、当金庫では、会員数がたいへん多く、総会の開催は事実上不可能です。そこで、当金庫では会員の総意を適正に反映し、充実した審議を確保するため、総会に代えて総代会制度を採用しております。

この総代会は、決算、取扱業務の決定、理事・監事の選任等の重要事項を決議する最高意思決定機関です。したがって、総代会は、総会と同様に、会員1人ひとりの意見が当金庫の経営に反映されるよう、選任区域ごとに総代候補者を選考する選考委員会を設け、会員の中から適正な手続きにより選任された総代により運営されます。

また、当金庫では、総代会に限定することなく、日常の事業活動を通じて、総代や会員とのコミュニケーションを大切に、さまざまな経営改善に取組んでおります。なお、総代会の運営に関するご意見やご要望につきましては、お近くの営業店までお寄せください。

総代の選任について

総代の選任は、法令、定款及び総代選任規程に基づき行われます。

■総代の任期・定数

- ・総代の任期は3年です。
- ・総代の定数は110人で、会員数に応じて選任区域ごとに定められております。

なお、平成29年6月16日現在の総代数は105人で、会員数は平成29年3月31日現在33,527人です。

総代は、会員の代表として、会員の総意を当金庫の経営に反映する重要な役割を担っております。

そこで、総代の選考は、総代候補者選考基準に基づき、次の3つの手続きを経て選任されます。

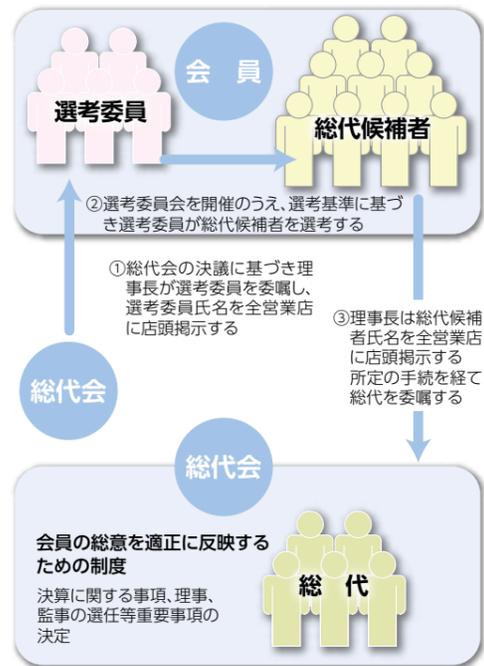
- ①総代会の決議により、会員の中から総代候補者選考委員を選任する。
- ②選考委員会を開催のうえ、総代候補者選考委員が総代候補者を選考する。
- ③上記②により選考された総代候補者を会員が信任する（異議があれば申し立てる）。

■総代候補者選考基準

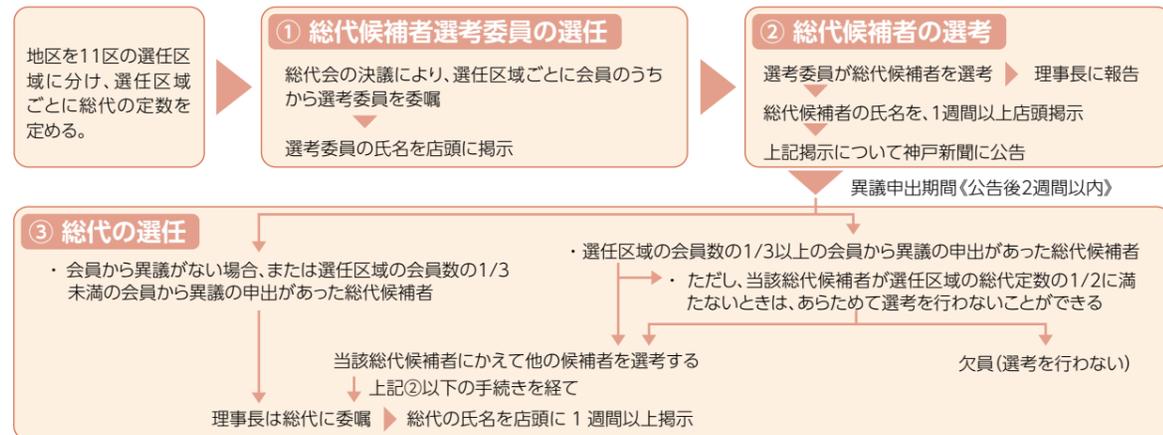
- 資格要件**
- ①中兵庫信用金庫の会員であること。
 - ②満70歳を超えていないこと。

適格要件

- ①総代として相応しい見識を有していること。
- ②地域における信望が厚く、総代として相応しい人であること。
- ③金庫の理念・使命をよく理解し、金庫との緊密な取引関係を有する方。
- ④人格・識見に優れ、当金庫の発展に寄与できる方。



総代が選任されるまでの手続きについて



総代会の決議事項の報告

●第48期通常総代会の決議事項

平成29年6月16日、総代105名（内委任状による方14名）のご出席を頂き、三田本部2階大会議室で開催しました。

次の事項が付議され、それぞれ原案通り承認されました。

- 報告事項 第48期（平成28年4月1日～平成29年3月31日まで）業務報告、貸借対照表および損益計算書の内容報告の件
- 決議事項 第1号議案 剰余金処分案承認の件
 第2号議案 総代選任規程の一部変更承認の件
 第3号議案 総代候補者選考委員40名選任の件



総代のみなさま

選任区域	人数	氏名
第1選任区域 丹波市氷上町	13人	足立 敬介①・池上 秀男④・石井 敏樹④・井上 雅仁③・太田喜一郎① 大村 吉樹③・北野 晶三③・十倉 厚雄⑤・富田 博重⑥ 中川 貢② 林 健二④・山下 栄治①・余田 亮一④
第2選任区域 篠山市（旧篠山町）	11人	足立 義則④・井上 高文③・大見 春樹⑤・倉 守④・栗山 泰三④ 田中 光則①・田野 治②・波部万寿夫④・福井 雅久③・松岡 四郎③ 山取 重之④
第3選任区域 丹波市柏原町	5人	足立 陽次④・岡林 利幸①・谷垣 渉⑤・土谷 孝夫④・土田 博幸③
第4選任区域 丹波市山南町	7人	浅葉喜久男③・大地 但④・岡本 猛④・篠倉 庸良④・篠倉 元治④ 田中 秀樹③・前川 実⑥
第5選任区域 丹波市春日町	7人	足立 克己④・石川みつる②・岡田 博美⑦・村上 康充⑤・柳川 拓三④ 山本 雅春②・吉住 俊一⑦
第6選任区域 丹波市青垣町	7人	芦田喜三郎③・足立 成人②・足立 喜信②・足立 頼彦⑥・飯田 正人④ 中川 重之⑤・山中 利樹②
第7選任区域 多可郡、西脇市黒田庄町	14人	足立 公夫②・石塚 喜行⑤・梅田 雅広④・大山 剛史②・桑村 浩司⑤ 見坂 亦嗣⑤・小寺 博史⑥・谷口 栄一④・角田 雅通④・藤本 博一④ 森脇 富成⑤・吉田 省吾⑥・矢持 健①・吉山 茂幸①
第8選任区域 丹波市市島町、福知山市	8人	岩澤 宏一④・塩見 要一④・新崎 昌博②・友繁 仁志③・細見 均② 前川 直⑤・山名 隆衛③・山本 龍之②
第9選任区域 篠山市（旧今田・丹南・西紀町）	6人	大上 巧①・太治 正一④・藤森 欣昭③・降矢 寿民②・細見 和治① 細見 泰隆①
第10選任区域 西脇市（黒田庄町を除く）、加東市、小野市、加西市	9人	岸本 亨⑧・篠原 義裕②・戸田 善幸④・中井 基弘②・藤本 義明② 藤原 正幸④・松田 幸弘①・丸山 正洋①・依藤 修②
第11選任区域 三田市、神戸市、西宮市、宝塚市、三木市、川辺郡	18人	芦田 由雄②・味地 正之④・今西 康之④・岩釜 孝吉③・扇野 洋一② 大槻 榮人④・岡本 光治①・奥崎 勇③・角谷 兵司④・作田 良尚① 柴田 茂徳①・末陰 孝博②・竹花 庄美③・中西 郁⑤・柰木 和明④ 藤田 寛文⑥・柳 史一⑤・山本 房男⑤

（注）敬称略 50音順・氏名の後の数字は総代の就任回数 合計 105人 平成29年6月16日現在

<総代の属性別構成比>

職業別	法人・法人代表者 78.1%、個人事業主 15.2%、個人 6.7%
年代別	60代以上 80.0%、50代 20.0%
業種別	製造業 26.5%、建設業 14.3%、卸・小売業 23.5%、サービス業 30.6%、その他 5.1%

（注）業種別の構成比は、法人・法人代表者、個人事業主について記載しております。